



平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
みやぎ歴史博物館「子どもプロジェクト」地域共働事業
動物に関わる東北地方における民俗文化財を伝承するプログラム構築事業

民話実演会

民話の
なかの
猿
さる
サル

平成29年

入場
無料

事前申込不要

1/14 土

13:30~16:00

会場 東北歴史博物館3階 講堂

お問い合わせ 東北歴史博物館情報サービス班 TEL022-368-0106

子どもが語る動物の民話 〈13:30~14:00〉

話者	武山 桃子(ももこ)さん (城南小2年)	櫻井 杏樹(あんじゅ)さん (天真小3年)
	千葉 よし乃さん (山王小4年)	佐藤 琴羽(このは)さん (城南小5年)

民話実演会 〈14:00~16:00〉

テーマ 民話のなかの猿 さるサル —青森・山形・福島の語り手を迎えて—

話者	成田 キ又ヨ氏 (青森県西目屋村砂子瀬生まれ)	渡部 豊子氏 (山形県新庄市生まれ)
	五十嵐 七重氏 (福島県金山町沼沢生まれ)	

解説 小野 和子氏 (みやぎ民話の会顧問)

東北歴史博物館
TOHOKU HISTORY MUSEUM

主催 宮城県ミュージアム復興事業実行委員会(東北歴史博物館・みやぎ民話の会) / 協力 利府民話の会

民話の猿さるサル



宮城県をはじめ東北地方では多くの民話が語り継がれてきました。そうした民話を学んだ小学生が民話を披露します。

つづいて、すぐれた民話の伝承者をお招きし、猿についての民話を披露していただきます。「猿の嫁ご」や「猿地蔵」などの語りを聞きながら、語り継がれてきた背景などを考えてみたいと思います。これらの民話について小野和子先生の解説を通して、「猿」にまつわる民話を持つ多様性や奥深さをみなさんと共感できればと願っています。



解説

おの かずこ
小野 和子氏

昭和9年、岐阜県高山市に生まれる。東京女子大学日本文学科卒業。県内を中心に民話の探訪、記録活動を行う。昭和51年にみやぎ民話の会を発足、現在同会の顧問。隔年で「みやぎ民話の学校」を開催。編著書は『宮城県の民話』（偕成社）、『長者原老嫗夜話』（評論社）、『みちのく民話まんだら』（北燈社）、『七ツ森周辺の民話』（日本民話の会）、『みやぎ民話の会叢書』第一集～第十三集（みやぎ民話の会監修）ほか。今年度は当館との共同で成田キヌヨ氏の語りの映像記録を行った。

● 民話の語り手

なりた きぬよ
成田 キヌヨ氏

昭和7年、青森県中津軽郡西目屋村砂子瀬に生まれる。現在、同県十和田市に住み、全国各地から招かれて民話を語っている。ダムに沈んだ砂子瀬の生活を知る数少ない証人。



わたべ とよこ
渡部 豊子氏

昭和17年、山形県新庄市（旧最上郡萩野村）に生まれる。現在、同市に住み、新庄ふるさと歴史センターや学校などで民話を語っている。新庄民話の会会員。



いがらし ななえ
五十嵐 七重氏

昭和21年、福島県大沼郡金山町沼沢に生まれる。現在、同郡三島町に住み、JR郡山駅構内の「おばあちゃんの民話茶屋」などで民話を語っている。全会津語りの会副会長。



● 次回の展覧会

特別展「工芸継承」

2017年1月14日(土)～2月26日(日)

昭和3年、国立工芸指導所が仙台に設置されました。工芸品の近代化とデザイン開発を目指したものを紹介します。

東北歴史博物館

TOHOKU HISTORY MUSEUM
〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1
TEL022-368-0101代 FAX022-368-0103代
ホームページ <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>
Eメールアドレス thm-service@pref.miyagi.jp

お問い合わせ・お申込み先

TEL.022-368-0106

交通のご案内

■JR線をご利用の方

- JR東北本線（仙台駅から14分）
「国府多賀城駅」隣り
- JR仙石線 「多賀城駅」下車徒歩25分

■お車をご利用の方

- 三陸自動車道「多賀城IC」から約5分
- 国道4号線若竹インターから国道45号線を塩釜方向に8km（約25分）
- 仙台港フェリーターミナルから15分
無料駐車場（191台・大型バス10台）

